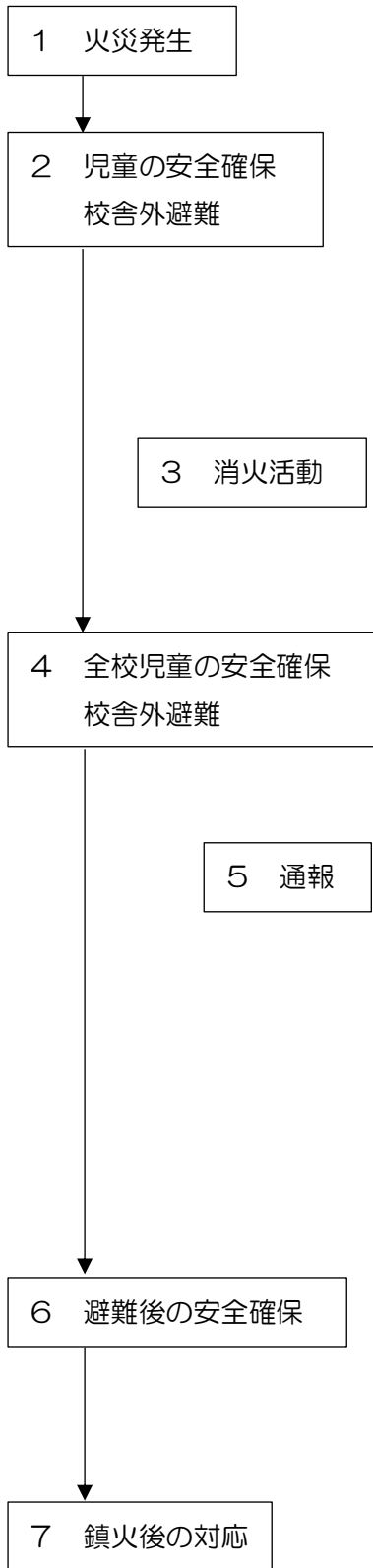


# 《火災発生時の対応》



＜その場の教員＞

- ①児童を校庭に避難させる。
- ②近くの非常ベルを押し、「火事だ！〇〇より出火！」と大きな声で叫ぶ。
- ③消火活動を行う。

＜副校長・職員室の教員・主事＞

- ①発報場所の確認（職員室）
- ②現場の確認（消火器、携帯電話持参）
- ③消火活動
- ④消火活動の状況を職員室に連絡
- ⑤放送「〇〇室が火事になりました。〇階段は使用できません。防災頭巾をかぶり、ハンカチを口にあてて、「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」を守り、〇〇階段を使って静かに校庭に避難しなさい。」
- ⑥消防署に連絡する。

「火事 です。  
江戸川区立小岩小学校 です。  
住所は江戸川区東小岩3-20-10 です。  
〇〇から出火 しました。  
児童は……。  
現在の様子は……。」

- ⑦非常持ち出し袋を持つ。
- ⑧消火活動が困難な場合は、教職員も直ちに避難する。

- 校庭に集合後、人員の確認。  
（副校長が集約）
- 負傷者の確認。関係機関への通報。
- 児童等の不安に対する対処。

- 校舎の被害を把握し、安全点検を行う。
- 区教委へ報告する。
- 災害対策本部が今後の対応を決定する。
- 安全が確保できる場所に児童を移動させ、今後の対応を伝える。保護者には緊急連絡メール・HPにて情報を流す。

## ＜留意点＞（避難は、避難訓練に準ずる）

### ■授業中（教員が指導している時）

#### 1 避難前

- ・緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- ・教室の窓をしめる。カーテンを束ねる。電気を消す。扉を閉める。
- ・児童を整列させる。

#### 2 避難中

- ・ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。

#### 3 人員確認

- ・昇降口前（場合によってはプール前）にクラスごとに並び
- ・担任は人員を確認し、副校長に報告する。  
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現在〇名、異常なし・あり（〇〇が不明）」  
\*「欠席」とは、その時点での不在者のこと。（欠席・出停・早退・遅刻等を含む）
- ・担任がクラスにつく。

### ■休み時間等

#### 1 避難前

- ・緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。

#### 2 避難中

- ・ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通して移動する。

#### 3 人員確認

- ・昇降口前（場合によってはプール前）にクラスごとに並び
- ・担任は人員を確認し、副校長に報告する。  
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現在〇名、異常なし・あり（〇〇が不明）」  
\*「欠席」とは、その時点での不在者のこと。（欠席・出停・早退・遅刻等を含む）
- ・教員の指示に従って、待機する。

## ＜火災予防の取組＞

- 「学校消防計画」に基づき、校長、防火管理者（副校長）を中心に、火災予防の状況を定期的に確認するなどして、防火を徹底する。
- 避難経路の確保、火気管理、放火防止対策、火気使用時の防火管理責任者への連絡などを徹底する。
- 校長を自衛消防隊長とした自衛消防組織を設置する。
- 給食室については、特に火災発生の危険が大きいことから、必要な防火管理、訓練などを実施する。
- 火災の発生を想定した避難訓練を定期的に実施する。